

その1秒を削り出せ！

10月1日（土）富山県中学校駅伝競走大会が開催されました。その日をさかのぼると4日前、9月27日（火）に、出場する選手のための壮行激励会が行われました。その中で、私が生徒たちに話したことを紹介します。

2011年1月の箱根駅伝の話です。箱根駅伝は、10人がタスキをつなぎます。東洋大学は、2009、2010年と2連覇を達成し、2011年も往路（1区～5区）で優勝しました。復路（6区～10区）でも優勝して3連覇をねらっていましたが、6区で早稲田大学に逆転され、10区のアンカーは、40秒差をつけられてスタートしました。1秒、2秒、3秒と少しずつ差を縮めました。しかし、最後は21秒及ばず、優勝することはできませんでした。（21秒差は、箱根駅伝の歴史で最小だそうです。）

その悔しい思いの中から、出てきた言葉が「その1秒を削り出せ！」なのです。はじめは「1秒を削り出せ！」だったそうです。でも、あえて、一人一人が自分で考えて自分で生み出してほしいという願いを込めて、「その」を付けたそうです。そして、翌2012年は見事、優勝を果たしました。

「その1秒を削り出せ！」中学駅伝は、男子は6名、女子は5名で走ります。6秒縮まれば、30m以上変わってきます。

今までやってきたたくさんの練習、苦しかった練習を信じて、城端中学校の校訓「不撓不屈」そして「その1秒を削り出せ！」の精神で力の限り頑張ってきてほしいと思います。城端中学校、全校生徒、先生方みんな応援しています。頑張ってきてください。

大会では、6人でその1秒を削り出してくれて、2位と6秒の差で、見事12年ぶり10回目の優勝を果たしてくれました。

頑張ってくれた生徒たち、指導していただいた方々、この大会に関わっていただいた関係者の皆様、多くの皆様にこの場をお借りして深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

